

## 国立美術館巡回展事務処理要領

### 1 作品の管理責任者

(1) 作品の管理責任者の区分は、次のとおりとする。

作品の管理責任者は、作品に関するすべての事故に対して責任を負うものとする。

- ① 独立行政法人国立美術館（以下「国立美術館」という。）が設置する美術館において、梱包した作品を送り出してから最初の展覧会場に到着するまでの管理責任者は、国立美術館及び最初の開催道府県・政令指定都市教育委員会及び開催美術館・博物館（以下「開催地の主催者」という。）とする。
- ② 展覧会場到着後、作品の開梱、陳列を終了するまでの管理責任者は、国立美術館及び開催地の主催者とする。
- ③ 展覧会開催中の管理責任者は、開催地の主催者とする。
- ④ 展覧会終了後、作品を撤収、梱包して展覧会場から搬出するまでの管理責任者は、国立美術館及び開催地の主催者とする。
- ⑤ 展覧会を終了した展覧会場において、梱包した作品を搬出してから次の展覧会場に搬入するまでの管理責任者は、国立美術館及び次の開催地の主催者とする。
- ⑥ 最終展覧会場から梱包した作品を搬出してからその作品を所蔵する国立美術館に搬入・開梱するまでの管理責任者は、国立美術館及び最終開催地の主催者とする。

(2) 作品展示の指導等のために国立美術館から担当者を派遣する。

(3) 開催地の主催者は、国立美術館から派遣する担当者が作品の管理保全等に関して指示した事項を必ず実施すること。

### 2 作品の点検及び引継

作品の点検・引継は次のとおり行うものとする。

- (1) 国立美術館における梱包・搬出及び第1会場への搬入・開梱時には、国立美術館及び開催地の主催者の担当者が立ち会うこと。
- (2) 各会場閉会時の梱包・搬出時には、国立美術館、当該開催地の主催者及び次の開催地の主催者の担当者が立ち会うこととし、次の会場への搬入・開梱時には国立美術館及び当該開催地の主催者の担当者が立ち会うこと。
- (3) 最終返却時には、国立美術館及び最終開催地の主催者の担当者が立ち会うこと。

### 3 協約書の作成

展覧会の実施に当たっては、国立美術館の担当館と開催地の主催者との間で次の事項について事前に協議し、協約書を作成する。

- (1) 会場及び会期
- (2) 陳列内容
- (3) 作品の管理
- (4) 経費の分担

## (5) その他必要な事項

### 4 経費の負担区分

#### (1) 国立美術館が負担するもの

- ① 作品の梱包費，資材費及び集荷・返却に係る経費
- ② 国立美術館から第1会場まで及び最終会場から国立美術館までの作品輸送に係る経費
- ③ 国立美術館から派遣する担当者の出張旅費

#### (2) 開催地の主催者が負担するもの

- ① 作品の開梱，梱包費及び各会場への輸送費のうち国立美術館が負担する経費以外の経費をプール計算によって等分した金額
- ② 所定輸送業者等による，作品の搬入・開梱・陳列・撤収・梱包・搬出等に要する経費及び当該輸送業者の出張のための費用の総額をプール計算によって等分した金額
- ③ 地元会場の会議費，会場設営費，人件費及び宣伝費等に要する経費
- ④ その他国立美術館が負担する経費以外の経費

#### (3) 国立美術館と開催地の主催者において応分の負担をするもの

国立美術館及び開催地の主催者が，各々の必要部数に応じた図録の制作に係る経費

### 5 観覧料収入等の帰属について

観覧料収入等（観覧料の他，図録販売収入等を含む。）については，開催地の主催者に帰属する。

### 6 状況報告書の提出

開催地の主催者は，展覧会終了後1カ月以内に報告書を作成し，これを国立美術館理事長あて提出すること（報告書の記載要領は別紙様式を参照すること。）。

この場合，展覧会に関する資料（ポスター，宣伝広告，新聞等に掲載された記事及び写真，記録等を含む。）を添付すること。

### 7 その他

#### (1) 展覧会中止の場合の責任

開催地の主催者は，万一展覧会開催を中止する場合には，次の責任を負うものとする。

- ① 次の開催地に引継ぐまでの作品の管理及び保全
- ② 開催を中止することによって，他の開催者に新たな経費負担を及ぼす場合はその経費の負担

#### (2) 図録の制作

この展覧会の陳列作品に関する図録については，国立美術館及び開催館等において制作する。

(別紙様式)

平成 年 月 日

独立行政法人国立美術館理事長 殿

各都道府県教育委員会教育長

「国立美術館巡回展」終了報告書について（提出）

標記巡回展が終了したので、別紙のとおり報告します。

(別紙)

1 名 称

2 主 催 者

独立行政法人〇〇国立〇〇美術館

〇〇県教育委員会

〇〇県立〇〇美術館

3 協 賛

4 会 期

平成 年 月 日～平成 年 月 日

5 会 場

〇〇県立〇〇美術館

6 入 場 者 数

名

7 収支決算書

収 入

科 目	金 額	積 算 基 礎
入場料収入	円	〇〇円×〇〇人, 〇〇円×〇〇人
図録販売収入		〇〇円×〇〇部
計		

収 入

科 目	金 額	積 算 基 礎
賃 金	円	(例) 鑑賞指導講師 〇人×1日〇円×〇日
出張費		※この欄には、各科目の 具体的な積算を記入すること。
会場設備費		
作品輸送費		
宣伝費		
印刷費		
通信費		
会議費		
計		

8 その他

(本展を開催しての感想, 今後に向けての提案等)